

## よみがえる宿場町の風情



# ようこそ 街道浪漫今庄宿 2006 へ

懐かしい味

### 茶めし



旅人によって伝えられたという茶めし。番茶に漬けた炒り豆とその漬汁で、もち米とうるち米を醤油で炊き上げている、今庄自慢の一品。

北陸の玄関口であった今庄宿を再現する、「街道浪漫今庄宿」が9月17日、今庄公徳園を中心に行われました。会場には、下の関所と上の関所、中の関所を置き、北国街道の宿場町だった延長1キロの商店や民家の軒先などに、茶めしやおろしそば、地酒、さばの炭焼きなど51店が出店。訪れた人たちは、昔ながらの町並みを見物しながら、今庄自慢の特産品を買い求めていました。

また、今年は今庄地区に伝わる夜叉ヶ池伝説をテーマにした「蛇踊り」が今庄宿に登場。全長25メートルの大蛇3体が、勇壮な踊りを披露し祭りを盛り上げました。

### 今庄羽根曾踊り

### 蛇踊り



紙と布で手づくりした大蛇。今庄中学校生徒や有志約60人が、夜叉ヶ池伝説を表現する蛇踊りを太鼓の演奏に合わせて披露しました。



北国街道を通る旅人の心をなぐさめた踊りと言われる羽根曾踊り。武士や町人、女中など往時の装束で披露。情緒豊かでゆっくりとした踊りは、見る人を和ませていました。